

令和 7 年度 第 2 回 全国健康保険協会愛媛支部評議会 議事概要

令和 7 年度愛媛支部第 2 回評議会が開催されました。その概要は以下のとおりです。

開催日時：令和 7 年 10 月 27 日（月曜）14：00～15：20

開催場所：ホテルマイステイズ松山 2 階 フェスタ

《議題》

第 1 号議案：令和 8 年度保険料率について

第 2 号議案：令和 8 年度愛媛支部保険者機能強化予算に係る事業方針について

出席者 大政評議員、岡村評議員、小林評議員、竹村評議員、藤田評議員、村岡評議員、
守谷評議員、渡部評議員
(五十音順)

事務局より各議題について資料に基づき説明。
評議員からの質疑・意見等は以下のとおり。

1. 令和 8 年度保険料率について

(被保険者代表)

様々な試算の見通しを踏まえると、中長期としては平均保険料率 10%維持でやむを得ない。

(学識経験者)

これまでの経過から、保険料率を下げると国庫補助率も引き下がる可能性が高まることは明らかであるので、保険料率の引き下げには慎重になるべき。また、生損保における準備金の資料を見る限り、現在の協会けんぽの準備金残高は安全な規模ではなく、今後の不測の事態に備えることも必要であることから、10%維持の方向性は妥当である。

(学識経験者)

今後の世の中の変化による様々なリスクを考慮すると、今の段階から保険料率 10%を維持し十分な準備金を確保しておかなければ、10 年後や 20 年後には安定的な保険料率を維持できないのではないかと。

(学識経験者)

加入者の平均年齢上昇による医療費の増加や、法改正による短時間労働者等への被用者保険適用拡大による財政負担の増加も考えると、10%維持が妥当であると考えます。保険料率上昇抑制のために実施する保険者努力重点支援プロジェクトにおいて、事業の効果検証が行われ、モデル化された課題解決の事業が各支部で横展開されることで保険料率上昇の抑制につながることを期待する。

(事業主代表)

将来的に 10%を維持できなくなることが危惧されるので、このまま 10%を維持することは

大切だと考える。同時に、医療費の伸びを抑える施策も必要であり、人間ドック健診に対する補助の開始等、現役世代の健康づくりに資する保健事業を一層推進していただきたい。

(事業主代表)

賃金上昇率については、多くの中小企業は賃金を上げたくても上げることが難しいのではないかと感じる。賃金上昇率がどのようになるか見ていく必要があるが、様々な試算を踏まえると 10%を維持することが妥当だと考える。

(被保険者代表)

国庫補助率を上げることによって、保険料率を下げるという可能性はあるのか。

(事務局)

協会けんぽでは、中長期的な財政の安定化を図るため、厚生労働省に国庫補助率を現行の 16.4%から 20%への引き上げを毎年度要望しているが、財政が黒字基調であることもあってか実現していない状況である。しかしながら、今後財政が厳しくなることが見込まれる中で、10%の保険料率をできる限り維持するためにも、国庫補助率の引き上げは引き続き要請していきたいと考えている。

(議長)

愛媛支部評議会の意見として保険料率 10%を維持することが望ましいということによろしいか。

(評議員一同)

異議なし。

(議長)

保険料率の変更時期についても、例年どおり翌年 4 月納付分からでよいとの意見でよろしいか。

(評議員一同)

異議なし。

2. 令和 8 年度愛媛支部保険者機能強化予算に係る事業方針について

(学識経験者)

保健事業予算の「ホテル・結婚式場等を活用した付加価値のある無料集団健診の実施」について、この女性向けの無料集団健診以外の集団健診もすべて無料なのか。

(事務局)

愛媛支部が実施する協会主催の集団健診は、どの会場でも無料で受診できる。また、新規事業であるホテル・結婚式場等を活用した無料集団健診については、通常の特健診の項目では受診してもらえない方に対して、オプションを充実させることで足を運んでもらいたい

という意図がある。費用は検討中であるが、基本的には無料で実施したいと考えている。

（学識経験者）

特定健診の費用が無料であることについて、この財源が加入者の方からの保険料で賄われていることを認識していただけるように更に周知してもらいたい。

（学識経験者）

ホテル・結婚式場等を活用した無料集団健診について、他支部ではどのように実施されていたのか具体的に教えてほしい。

（事務局）

これまでの愛媛支部主催の集団健診は、公民館など自治会の施設やショッピングモール等で実施し、健診の案内を行っていた。今回実施予定の施策では、他支部で行われた内容と同様に、健診に関心がない人にも受診してもらえよう、ホテル等の特別感のある会場を設定し、健診だけではなく、更年期健康相談や骨粗しょう症検診など、健康づくりに関するものをセットにして集客を図りたい。

（学識経験者）

健診会場がホテルや結婚式場であれば、雰囲気がいいので健診に行ってみたいと感じてもらうことで、健診を受診するハードルを下げる広報ができればよいと思う。

（事業主代表）

多くの予算が使われているため、費用対効果などを検証する必要がある。具体的な効果検証方法を教えてほしい。

（事務局）

今までの集団健診とホテル・結婚式場等を活用した無料集団健診の集客面等を比較し効果検証を行いたい。今回の新規事業については 130 万円程度の経費を見込んでおり、通常の集団健診の項目にオプションを追加することで一人当たりの健診費用が増加するため、費用の妥当性をどのように考えるか判断が難しいところである。この点については、評議会で皆様からご意見をいただきながら、継続して実施していくのかどうか判断したいと考えている。

（被保険者代表）

費用対効果を検証することは重要。しかしながら、健診に関しては短いスパンでの効果検証は難しいと考える。現役世代に早期にアプローチし生活習慣病を予防することは、将来的な医療費上昇の抑制につながっていくものと思われるので、受診率や受診者の動向等ある程度の傾向が示されれば、実施する意義はあるのではないかと。

（学識経験者）

新規事業の付加価値のある無料集団健診については、健診実施後に感想や要望を聞くための簡単なアンケートを行ってはどうか。最近では、二次元コードを読み取り Google フォーム

でアンケートに回答いただく事例も聞いている。

（学識経験者）

事業名にもある付加価値の点を検証するのであれば、集客数の増加だけを検証するのでは不十分であると考える。実施前後でアンケートを取るなど健診受診者の意見等も加味して検証すべきではないか。

（事務局）

皆様のご意見を踏まえて、検討したい。

3. 連絡事項

次回評議会は、令和8年1月に開催予定。

以上